

○「普賢寺地区連絡会が始動」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第12回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月18日午後7時～8時30分
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出 席 者: 委員6名、市役所:伊藤主査、普及センター:寺岸副主査、農業会議:多田課長
- 報 告 者: 今井 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 6月18日に「普賢寺地区連絡会」の設立総会が開催され、新たな地域づくりの拠点が誕生した。
- 農地利用最適化推進「活動目標」について検討され、「月1回、地区連を開催し、情報の共有と課題意識を醸成する」に決まった。また、農業会議から提案の委員研修については12/13に開催することとなった。
- 特に、米のブランド化や草刈り作業の軽減にヘアリーベッチ等の景観作物が導入できないか、また農地利用の現況を地図に落とし、農振の見直しについて地域で話し合いができないかなど、具体的な対策が提案され、意見交換された。これらの課題については、引き続き、次回に意見交換されます。

4 活動結果

- 情報・意見交換 1.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援